

Q. この大学の良い所は何ですか

A.

この度は、春休みにもかかわらず、また当日は雨の中千葉科学大学のオープンキャンパスにご参加いただきありがとうございます。オープンキャンパスのアンケートの中の質問に、お答えさせていただきます。

さて、ご質問は「この大学の良い所は何ですか」とのことでした。

実は、千葉科学大学の良い所はたくさんありすぎて、お答えすることができません。今回薬学部を中心に回られていますが、その薬学部も卒業生全体で薬剤師の累積合格率は90%に近く、また日本と韓国の薬剤師資格を持つような卒業生もいます。他の学部も資格取得率は非常に高く、多くの方が様々な場面で活躍しているのです。

ただし、千葉科学大学の最も良い所は、そのような資格取得率とか、卒業時に良いところに就職したとか、そう言ったところではないと思っております。

実は、この学校の最も素晴らしいところは「学生の幸福度」ではないかと思います。少し前、世界の幸福度でブータンが第一位になって話題になりました。それと同じようなことで、もしも大学の学生の幸福度を取れば、間違いなく千葉科学大学が一位になるでしょう。千葉科学大学の学生がどんな生活を送っているかは、「千葉科学大学の日常」というYouTubeチャンネルの中にありますが、その中には様々な悩みを抱えていたり、問題があったりしながらも、千葉科学大学の中で教職員や友人たちとコミュニケーションを取り、自分の目標をしっかりと自分で見つけ、その方向に向かってゆく姿が声優の声で語られています。それは本当の一例で、本学の学生が全て同じような思いを持ち、学校での学びを楽しんでいるのです。

このほかにも、夕日の美しさや海の近さなどもありますし、銚子市の皆さんとの仲の良さ（アットホームな雰囲気）も、本学の魅力です。

ぜひ千葉科学大学に来て、これ等の事をご自身で体験していただければありがたいかと思っております。もっと直接語りたい場合は、入試広報部をお訪ねいただければ、お時間の許す限り、千葉科学大学の魅力についてお話しますので、いつでもご連絡ください。

次回、またお目にかかれることを楽しみにしております。

長文失礼いたしました。

千葉科学大学 入試広報部 宇田川 敬介

Q. 大学楽しいですか（同様の質問他1件）

A.

この度は、春休みにもかかわらず、また当日は雨の中千葉科学大学のオープンキャンパスにご参加いただきありがとうございます。オープンキャンパスのアンケートの中の質問に、お答えさせていただきます。

さて、ご質問は「大学楽しいですか」とのことでした。

一言でお答えすれば「こんなに楽しいところはない」ということでしょうか。

では、なぜ楽しいのかと言えば、千葉科学大学には「自由」があるということと「学生も教職員も今もまだ成長し続けている」ということではないでしょうか。人間は「成長する事」が最も楽しいといわれています。「知識欲」という言葉がありますが、わからないことを一つ知るたびに、人間はできることが増え、そして自分に自信がつき、そして夢が広がります。これは何も勉強に限ったことではありません。人とコミュニケーションをとって、その人のことがわかったり、機械の使い方がみえたり、世の中の仕組みが少しわかったり、ゲームの攻略法がわかったり、ちょっとしたことで人間は成長します。

しかし、それだけならば他の大学と何の変わりもありません。千葉科学大学の楽しいところは、「失敗からも学ばせてくれる」ところではないでしょうか。実は次回5月14日（日）開催のオープンキャンパスは、学生が全て企画し、運営し、教職員は全て学生の指示に従って動きます。もしも失敗した場合といえども学生はそこから大きく学べます。もちろん迷惑をかけた相手には、教職員が謝りに行きますし、その謝罪の方法も学生に教えることができるのです。このようにして、今年の学園祭である青澄祭では、声優の西山宏太郎さんと大久保瑠美さんをお招きしてイベントをしましたが、そのイベントの企画も運営も司会進行も、打ち合わせの段階からすべて学生が行っていました。また、2月9日には駐日ウクライナ大使をお招きして特別講義を行いました。その司会進行も学生です。みんな「失敗していらっしゃい。その方が学びが大きいから」ということを言われ「大舞台」を学びながら楽しんでいたのでした。

そんな「楽しみながら学ぶ」という体験を、ぜひ千葉科学大学に来てご自身で体験していただければありがたいかと思えます。もっと直接語りたい場合は、入試広報部をお訪ねいただければ、お時間の許す限り、千葉科学大学の魅力についてお話しますので、いつでもご連絡ください。

次回、またお目にかかれることを楽しみにしております。

長文失礼いたしました。

千葉科学大学 入試広報部 宇田川 敬介

Q. 大学生活で大変なことは何ですか

A.

この度は、春休みにもかかわらず、また当日は雨の中千葉科学大学のオープンキャンパスにご参加いただきありがとうございます。オープンキャンパスのアンケートの中の質問に、お答えさせていただきます。

さて、ご質問は「大学生活で大変なことは何ですか」とのことでした。

千葉科学大学では、大変なことはたくさんあります。しかし、大学という場所は、千葉科学大学に限らず、「大変なことから学び、社会に出てから同じようなことが起きても大変ではなくなるように学ぶ場所」ではないかと思います。ですから「大変」は、「将来の平気」を作り出しているということではないかと思います。

ではそのような中で最も大変なものはいったい何でしょうか。

それは「自分との闘い」ではないかと思います。勉強は「強いて勉める」と書きますが、それは「自分を強制して勉めさせる」ということです。しかし、自分自身ですからどうしても甘えが出てきますし、また、こんなことをしなくてもよいのではと思ってしまいます。何しろ自分の事ですから、他の人は一切介入できません。それに実力も、「天使の自分」と「悪魔の自分」が拮抗しています。その戦いに勝つことが最も大変ではないでしょうか。

ただし、千葉科学大学の場合は、そのような自分自身との戦いを経験した教職員がたくさんいます。全く同じではなくても、自分の「黒歴史」を出して、皆さんが自分自身との戦いに勝てるように、後押しすることができます。それは、どの教職員でも同じです。学長の東祥三先生でも、同じように力を貸してくれます。だから大変なことも、みんな乗り切っていくことができるのです。

そんな体験を、ぜひ千葉科学大学に来てご自身で体験していただければありがたいかと思えます。もっと直接語りたい場合は、入試広報部をお訪ねいただければ、お時間の許す限り、千葉科学大学の魅力についてお話ししますので、いつでもご連絡ください。

次回、またお目にかかれることを楽しみにしております。

長文失礼いたしました。

千葉科学大学 入試広報部 宇田川 敬介

Q. 何故その大学を選んだのか

A.

この度は、春休みにもかかわらず、また当日は雨の中千葉科学大学のオープンキャンパスにご参加いただきありがとうございます。オープンキャンパスのアンケートの中の質問に、お答えさせていただきます。

さて、ご質問は「何故その大学を選んだのか」とのことでした。

大学選びについて、まずは入試広報部ということではなく、一人の大人としてアドバイスできるとすれば、「まずは自分の夢を持つこと」そして「自分の夢に近い先生や、アドバイスしてくれる先生を調べ、その先生に習うことができる大学を選ぶこと」であると思います。大学は偏差値や知名度、世の中のイメージなど、第三者の人の感想などとは関係ありません。大学で研究し、また勉強して卒業し社会に出て活躍するということは、大学の名前は関係ないのです。その時に自分がどれくらい成長しているかということではないでしょうか。

自分の成長は、「自分の現在の位置」と「自分の目標とする場所」と、その間を早く最も効率よく進むことのできる手段を教えてくれる教職員のサポートの三つでできるのではないのでしょうか。その意味で「自分自身がやりたいこと、そしてあこがれる先生」に習うことは、自分自身がそのようなことをできるようになる最も近道ではないかと思います。

ここからは入試広報部としての話ですが、千葉科学大学には、実務を経験している先生や、ニッチな研究をしている先生、他の大学にはいないような経験をしている先生もいます。また、「世の中的には失敗した」ことから大きく学び、どうしたら失敗しないようになるかを教えてくれる先生もいるのです。某有名大学などは「社会に出たことはないが、学者として順風満帆な成果を持っている先生」がいるかもしれません。しかし、人間は失敗から最も多くを学ぶものですから、順風満帆の人生を送った先生では、あなたが挫折した時にアドバイスをしてもらえないかもしれないのです。そのような意味で、「人生の中で山も谷も経験した人々の経験から学ぶ」ことができることが、最も良いのかもしれません。

そのような意味で、千葉科学大学には、様々な学びがあり、その学びを得られることが、この大学を選んだ理由であるという人が少なくないのかもしれません。

そんな体験を、ぜひ千葉科学大学に来てご自身で体験していただければありがたいかと思えます。もっと直接語りたい場合は、入試広報部をお訪ねいただければ、お時間の許す限り、千葉科学大学の魅力についてお話ししますので、いつでもご連絡ください。

次回、またお目にかかれることを楽しみにしております。

長文失礼いたしました。

千葉科学大学 入試広報部 宇田川 敬介

Q. 千葉科学大学で採れるオススの資格を知りたい

A.

この度は、春休みにもかかわらず、また当日は雨の中千葉科学大学のオープンキャンパスにご参加いただきありがとうございます。オープンキャンパスのアンケートの中の質問に、お答えさせていただきます。

さて、ご質問は「千葉科学大学で採れるオススの資格を知りたい」とのことでした。

先日のオープンキャンパスで動物危機管理学科を中心に回っていただいたようですので、動物危機管理学科で取得できる資格を回答いたします。動物危機管理学科では、次のような資格を取る方が多いようです。

- ・愛玩動物看護師
- ・愛玩動物飼養管理士
- ・実験動物1級・2級技術者
- ・食品衛生管理者及び食品衛生監視員
- ・博物館学芸員
- ・生物分類技能検定2・3級

しかし、西日本豪雨や熱海伊豆山土石流災害などでボランティアとして活躍している教員のいる千葉科学大学で最も特徴的なのは、次の三つ。

- ・ペット救急員（犬猫・エキゾチック）
- ・災害支援動物危機管理士
- ・捜索救助犬サポーター検定

この三つは、千葉科学大学の動物危機管理学科で学んだ人でなければ、学生の間で取得することはできない資格です。災害時に、ペットの命を救い、または避難所でペットを安全に保護することのできる資格です。このような資格を出すことから、千葉科学大学では、小沼先生が中心になって、熱海市伊豆山土石流災害などではボランティアで活躍しています。

人だけではなく、動物の命も守るという体験を、ぜひ千葉科学大学に来てご自身で体験していただければありがたいかと思います。もっと直接語りたい場合は、入試広報部をお訪ねいただければ、お時間の許す限り、千葉科学大学の魅力についてお話ししますので、いつでもご連絡ください。

次回、またお目にかかれることを楽しみにしております。

長文失礼いたしました。

千葉科学大学 入試広報部 宇田川 敬介

Q. 入試の事

A.

この度は、春休みにもかかわらず、また当日は雨の中千葉科学大学のオープンキャンパスにご参加いただきありがとうございます。オープンキャンパスのアンケートの中の質問に、お答えさせていただきます。

さて、ご質問は「入試の事を知りたい」とのことでした。

まず、さすがに「入試問題や解答をお知らせする」ということはできませんので、そこはお許してください。ちょっと法律に違反することはできません。

入試の制度に関しては、令和5年の入試（令和6年度入学生）に関して、まだ入試要項を作成中なので、詳しくお話することはできません。また決まり次第、ホームページなどでお知らせします。また、オープンキャンパスでは、入試制度に関して詳しく個別に相談できるコーナーを作っておりますので、そちらもぜひご利用ください。

ただ、今の段階で言えることは、千葉科学大学の入試は「知識」ではなく「やる気」を問うことが基本になっています。勉強は大学に入ってからするものですし、また高校までの勉強とは全く異なりますから、高校までの学力は参考程度にしかありません。それよりも、ただ記憶すればよいというような変な癖がついているよりも、将来の夢をしっかりと持ち、その夢に向かってやる気がある人の方が、千葉科学大学の学びにはあっていると思います。また、そのような方の方が、卒業してからも活躍している人が多いような気がします。

そのことから、ぜひ千葉科学大学に来て、ご自身で「やる気を発揮しての学び」を体験していただければありがたいかと思います。もっと直接語りたい場合は、入試広報部をお訪ねいただければ、お時間の許す限り、千葉科学大学の魅力についてお話しますので、いつでもご連絡ください。

次回、またお目にかかれることを楽しみにしております。

長文失礼いたしました。

千葉科学大学 入試広報部 宇田川 敬介

Q. 頭が良くても入れますか

A.

この度は、春休みにもかかわらず、また当日は雨の中千葉科学大学のオープンキャンパスにご参加いただきありがとうございます。オープンキャンパスのアンケートの中の質問に、お答えさせていただきます。

さて、ご質問は「頭が良くても入れますか」とのことでした。

まず「頭が良い」とはどのような状態でしょうか。千葉科学大学の場合、「偏差値が良い」ということがそのまま「頭が良い」とは思っておりません。偏差値が良いのは、「記憶力が良い」のであって「解答を覚える事が得意」なだけであると思います。しかし、実際に社会に出てみると「解答のある問題」などは全くありません。解答がない問題を、様々な知識やその場の状況、先人のアドバイスや後輩のやる気などを使い、自分の知識を総動員して新たな道を探り、「問題を解決してゆく」ということになります。ですから、高校までの「解答のある問題の答えを覚える事が得意」では、社会に出てから仕事ができず、活躍できなくなってしまうのです。

そのことは、東京大学出身者があれだけ揃っているにもかかわらず、東日本大震災で「想定外」としか言えなかった、つまり、災害もその被害も、そこから派生する問題も想定できなかったということなのです。そして、千葉科学大学の学長である東祥三先生は、当時政治家で、東日本大震災の時に災害担当の副大臣に就任しており、災害現場に誰よりも先に赴いて陣頭指揮をされていた経験があります。それだけに、「想定外」と答える政府中枢の何が悪かったのか、その反省から、今の千葉科学大学の学びに活かされているのです。

では、何が最も大事でしょうか。

「頭が良い」ではなく「人を助けたいという心」「明日を学びたいという気持ち」そして、なによりも「やる気」ではないかと思えます。頭の良し悪し、偏差値の高い低いではないと思えますし、また、そのようなことで人を判断すること自体がナンセンスであると思えます。

ぜひ千葉科学大学に来て、ご自身で「やる気を発揮しての学び」を体験していただければありがたいかと思えます。もっと直接語りたい場合は、入試広報部をお訪ねいただければ、お時間の許す限り、千葉科学大学の魅力についてお話ししますので、いつでもご連絡ください。次回、またお目にかかれることを楽しみにしております。

長文失礼いたしました。

千葉科学大学 入試広報部 宇田川 敬介

Q. どんな人が向いていると思いますか？

A.

この度は、春休みにもかかわらず、また当日は雨の中千葉科学大学のオープンキャンパスにご参加いただきありがとうございます。オープンキャンパスのアンケートの中の質問に、お答えさせていただきます。

さて、ご質問は「どんな人が向いていると思いますか？」とのことでした。

ひとことで言えば、「やる気のある人」が最も向いています。なんにでも興味があり、そして少し生意気に何でもできると思っている人、あるいはなんでも学んでやろうと鶴の目鷹の目で狙っている人、そんな人は、千葉科学大学の学びにあっていると思います。頭の良し悪しではありません。

千葉科学大学の場合、「偏差値が良い」ということがそのまま「頭が良い」とは思っておりません。偏差値が良いのは、「記憶力が良い」のであって「解答を覚える事が得意」なだけであると思います。しかし、実際に社会に出てみると「解答のある問題」などは全くありません。解答がない問題を、様々な知識やその場の状況、先人のアドバイスや後輩のやる気などを使い、自分の知識を総動員して新たな道を探り、「問題を解決してゆく」ということになります。ですから、高校までの「解答のある問題の答えを覚える事が得意」では、社会に出てから仕事ができず、活躍できなくなってしまうのです。

そのことは、東京大学出身者があれだけ揃っているにもかかわらず、東日本大震災で「想定外」としか言えなかった、つまり、災害もその被害も、そこから派生する問題も想定できなかったということなのです。そして、千葉科学大学の学長である東祥三先生は、当時政治家で、東日本大震災の時に災害担当の副大臣に就任しており、災害現場に誰よりも先に赴いて陣頭指揮をされていた経験があります。それだけに、「想定外」と答える政府中枢の何が悪かったのか、その反省から、今の千葉科学大学の学びに活かされているのです。

では、何が最も大事でしょうか。

「頭が良い」ではなく「人を助けたいという心」「明日を学びたいという気持ち」そして、なによりも「やる気」ではないかと思います。頭の良し悪し、偏差値の高い低いではないと思いますし、また、そのようなことで人を判断すること自体がナンセンスであると思います。

ぜひ千葉科学大学に来て、ご自身で「やる気を発揮しての学び」を体験していただければありがたいかと思えます。もっと直接語りたい場合は、入試広報部をお訪ねいただければ、お時間の許す限り、千葉科学大学の魅力についてお話ししますので、いつでもご連絡ください。次回、またお目にかかれることを楽しみにしております。

長文失礼いたしました。

千葉科学大学 入試広報部 宇田川 敬介